

中学校第2学年 社会科

⑬近畿地方

—歴史の中で形作られてきた人々の暮らし—

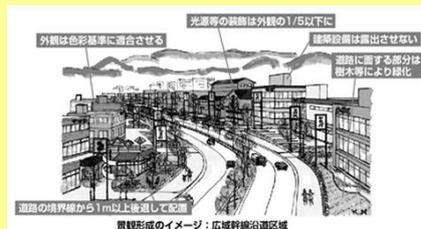
学習のねらい

- 身近な地域の題材を扱うことで、地域的特色に対する関心を高め、意欲的に追究する。
- 歴史的景観が保護される理由を、明日香村の様子を基に、観光や人々の営みと関連付けて考察する。

郷土の資源について

奈良市は、奈良県の北部に位置する市で、県庁所在地である。世界遺産に登録されている東大寺や平城京が点在している。

しかし、戦後、わが国は都市化が急速に進み、宅地開発の波は京都、奈良、鎌倉等の古都にも及ぶようになり、古都の景観を守ろうとする世論が高まった。このような中、昭和41年に古都の歴史的風土を守るという目的で、「古都における歴史的風土の保存に関する特別措置法（古都保存法）」が制定され、奈良市では平成22年4月に「奈良市景観計画」を策定し、歴史的景観の保護に取り組んでいる。



学習指導要領上の位置付け

地理的分野 日本の諸地域 近畿地方

学習の流れ

1. 近畿地方の生活の舞台

1 時間

2. 近畿地方の人々の営み

1 時間

3. 都市と郊外の成り立ち、現代に開発されたニュータウン

1 時間

4. 古都の成り立ちと現在（本時）

1 時間

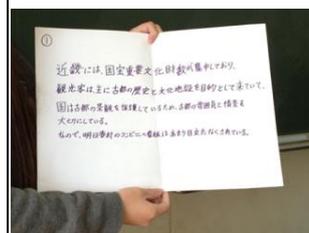
参考文献・Web ページ

・奈良市 HP <http://www.city.nara.lg.jp/www/contents/1311044117760/index.html>



展開例（本時 4 / 4）

	学習活動	指導上の留意点 （※評価規準）	備考
導入	<ul style="list-style-type: none"> ○前時の振り返り ○本時の学習課題を把握する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・気付いたことを自由に発表できる雰囲気づくりをする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「都会の街並み」と「明日香の街並み」の写真を比較する。
	看板は目立つほうが良いのに、明日香では、なぜ目立たない看板が見られるのだろう		
展開	<ul style="list-style-type: none"> ○本時の問いに対する予想を立てる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・まずは、個人で予想を立てさせる。 	
	<ul style="list-style-type: none"> ○4枚の資料を用いて、ワークシートにまとめる。 ○4枚の資料を読み取る。 <ul style="list-style-type: none"> ・古都保存法から ・景観形成のイメージ図から ・奈良県の全観光地点の観光客数から。 ・国宝、重要文化財件数から ○グループでまとめたものを発表する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・次の内容を読み取らせる。 <ul style="list-style-type: none"> →古都の歴史的風土を守るという目的。 →地域の景観に与える違和感や雑然さを軽減する。 →建物の高さを制限する。 →歴史・文化施設への観光客数が7割を占める。 →奈良県は、登録件数が全国1位である。 <p>※自分の考えを、資料から読み取ったことを基にまとめている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・古都保存法に関する文章 ・景観形成のイメージ図 ・奈良県の全観光地点の延べ観光客数 ・国宝・重要文化財件数
まとめ	<p>【習得すべき知識】</p> <p>近畿地方には、国内だけでなく、世界各地の人々をひきつける観光資源がある。しかし、開発の波にさらされてしまうようになったため、古都保存法を制定し、歴史的に形成されてきた景観や街並みをそこなわないようにしている。</p>		



発展的な学習の例

夏休みに、地域の歴史的景観を守る取組について調べ、自らの暮らす地域について理解を深める。また、それを壁新聞にまとめてみんなの前で発表する。